



# 避妊・去勢手術をしましょう!

ワンちゃんやネコちゃんをお家に迎え入れる際に、必ず耳にする「避妊・去勢」という言葉。みなさん何だかおわかりですか?

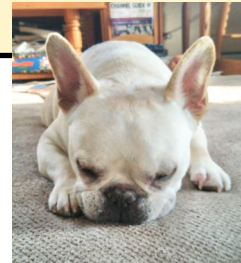
愛するワンちゃんネコちゃんと幸せに暮らしていくためにもきちんと理解しておきたい避妊・去勢手術について説明していきます!

## 避妊・去勢手術とは

- ・避妊手術は、全身麻酔下で両側の子宮・卵巣を摘出することです。
- ・去勢手術は、全身麻酔下で両側の精巣を摘出することです。
- ・両者とも麻酔をかけての手術になるので、短頭種や老犬などには麻酔によるリスクが多少高くなります。

## 最適な時期は?

- ・当院では避妊手術は発情を迎えてから1ヵ月後、去勢手術は8ヶ月齢ごろをおすすめしています。
- ・生後4~6ヶ月齢ごろの早めの手術をご希望の方もいらっしゃいます。遠慮なくご相談下さい。



## メリット・デメリット

### メリット

- ・望まない出産を避けられる
- ・病気の予防に繋がる
- ・問題行動が減少する

### デメリット

- ・太りやすくなる
- ・麻酔のリスクが生じる



### 子宮蓄膿症

子宮蓄膿症とは、子宮の内部に膿が溜まる病気です。食欲不振や元気消失、発熱などが生じます。

### 乳腺腫

乳腺腫とは、乳腺の組織の一部が腫瘍化してしこりができる病気です。早期の避妊手術が発生率を下げます。

## 予防できる病気

### 精巣腫瘍

精巣腫瘍とは、セルトリ細胞腫、精上皮腫、間質細胞腫などがあります。去勢を行うことで、未然に予防する事が出来ます。

### 前立腺肥大

前立腺肥大とは、前立腺過形成による良性の腫大で、排便や排尿困難を引き起こすことがあります。去勢手術が一般的な治療法です。

## 他にもこんないいことが！

問題行動(攻撃行動やマーキングなど)が緩和・減少します。

ただし、個体差があるので、必ずしもよくなるわけではないよ、、、

ごめんね



当院では、避妊・去勢の手術を行う上でできるだけワンちゃんネコちゃんに負担がかからないよう

- ・エリザベスウェア
- ・腹腔鏡を用いた手術

など積極的に取り入れております。

ご不明な点やご質問などございましたら、お気軽にご相談下さい。

